

次期森林計画についての森林管理署の検討方向 〈長崎北部森林計画区〉

— 目 次 —

1. 現行計画の概要
 - (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
 - (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
 - (3) 林産物の供給に関する事項
 - (4) 国有林野の活用に関する事項
 - (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項
2. 次期計画の検討方向

川棚町から見た虚空蔵山

長崎森林管理署

1. 現行計画の概要(平成30年4月1日～令和5年3月31日)

- ・長崎北部森林計画区の対象は、国見山地区、大村地区、平戸地区の3地区とこれらの中に介在する小団地で形成される国有林野2,376haです。
- ・計画区内の国有林は、全森林面積の5%にあたり、天然林が35%、人工林が65%を占めています。
- ・管理区域のうち制限林が95%を占め、水源かん養保安林が全体の86%となっており、下流域の水瓶として重要な役割を担っています。また、海岸線は変化に富み、優れた自然景観を有しており、西海国立公園や北松県立自然公園に指定されています。
- ・森林を構成する主な樹種として、クヌギ、ナラ、カシ類等の天然広葉樹林、スギ、ヒノキ人工林を主体とする林分であり、水源涵養機能や山地災害防止機能を発揮することを期待して、管理経営を行っております。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、国有林野を、重点的に発揮すべき機能に応じて5つの機能類型に区分し、管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (267ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視。	根や表土の保全、下層植生の発達した森林。
自然維持タイプ (159ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視。	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・生息に適した森林。
森林空間利用タイプ (248ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視。	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林。
快適環境形成タイプ (0ha)	快適な環境の形成機能の発揮を重視。	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林。
水源涵養タイプ (1,702ha)	水源涵養機能の発揮を重視。	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林。 森林資源の有効利用にも配慮。

②森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、国有林の持つ組織・技術・資源を活用し、民有林行政の支援に積極的に取り組めます。



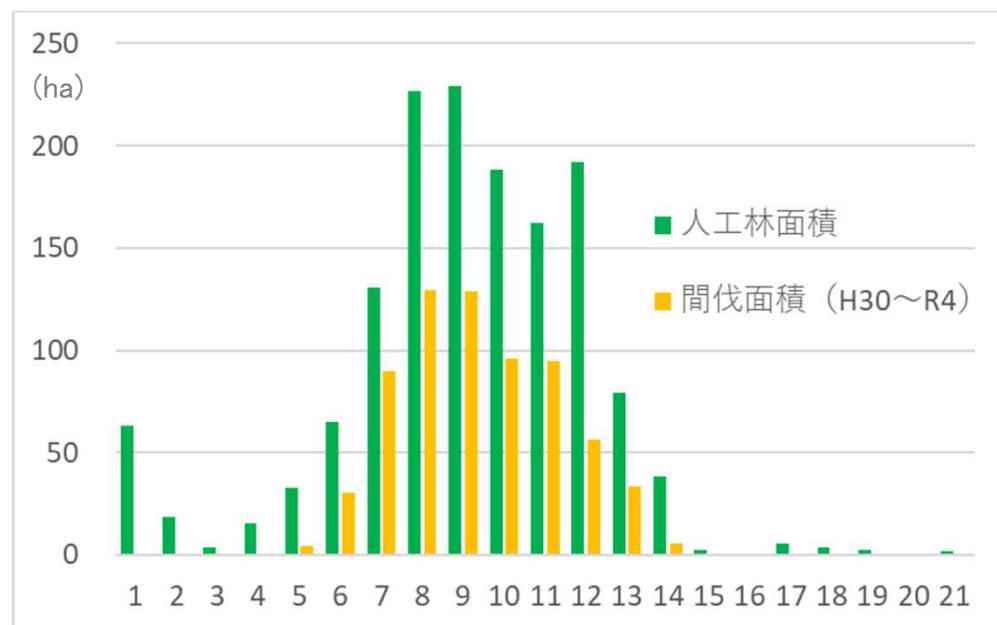
低コスト・効率的な作業システムに関する現地検討会の様子

国有林内において、林業事業者、県の林業普及指導員等も参加して、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムに関する現地検討会を行い、民有林への技術の普及に取り組んでいます。

③地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

本計画区の人工林の面積は約1,461haで、そのうち間伐の対象となる16年生から60年生の人工林の面積は約1,242ha（人工林面積の85%）です。

また、現行計画（H30年度～R4年度）では間伐を約668ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。



(年齢級)

注：1年齢級は1～5年生を表します。



列状間伐を導入した人工林

④多様で健全な森林の整備・保全

間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて下層植生による林地の被服を図り、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



現状(人工林)



複層林化された森林



長伐期化された森林

⑤国民生活の安心・安全の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安心・安全の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。



長崎県東彼杵町遠目地区等をはじめとする流域内で発生した山地災害箇所等について、床固工等による早期復旧工事を実施しました。

また、遠目山治山工事の資材に間伐材等を積極的に使用し木材利用の推進に取り組んでいます。

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

① 森林の適切な保全管理及び巡視活動

本計画区には県立自然公園に含まれる国見山等があり、山火事防止や廃棄物の不法投棄防止のための宣伝、啓発活動を通じて適切に保護・保全を図っています。また、水源かん養の上で重要な森林が多いことから、ボランティア団体等と協働・連携して植生の回復や森林保全のための取り組みを行っています。



クリーン活動の実施状況



ボランティアによる植林活動

②野生鳥獣被害対策

ノウサギによるヒノキ苗木の枯損や成長不良等の被害が発生したため、防護柵を設置するなど、被害防止対策を実施しています。



実際の被害の様子



ノウサギ対策のため防護柵の設置

近年、大村市周辺でシカの見撃情報が増えていることから、フィールドサインの調査やセンサーカメラを設置する等、被害防止対策を実施しています。



調査に使用するセンサーカメラ



↑ ノウサギ

↓ イノシシ



今後も継続的に調査を実施し、被害の未然防止に努めていきます。

(3) 林産物の供給に関する事項

① 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



コンテナ苗の育成状況



高性能林業機械(プロセッサ)の利用状況

林業生産コストの削減を図るため、列状間伐による効率的な間伐の実施、簡易で崩れにくい路網の整備、高性能林業機械による作業システムやコンテナ苗の導入等を推進しています。

(4) 国有林野の活用に関する事項

① 森林の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を地域の方々に提供しています。

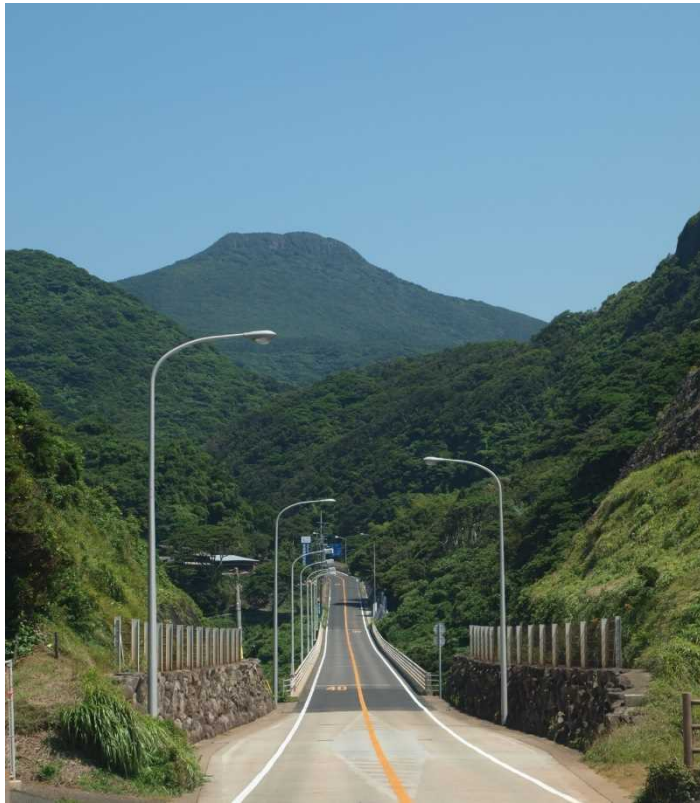


市民休養施設(松浦市)

郷見谷池（世知原町）周辺の国有林



歴史的に重要な森林を維持管理することで、伝統文化を守り、森林の文化的機能を発揮しています。



生月大橋から見た安満岳



神社へと続く鳥居

平戸市に所在する国有林には、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として2018（平成30）年に世界文化遺産に登録された安満岳（530m）があります。

(5) 国民参加による森林の整備に関する事項

① 国民参加の森林づくりと森林環境教育の推進

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。



植え付けの様子



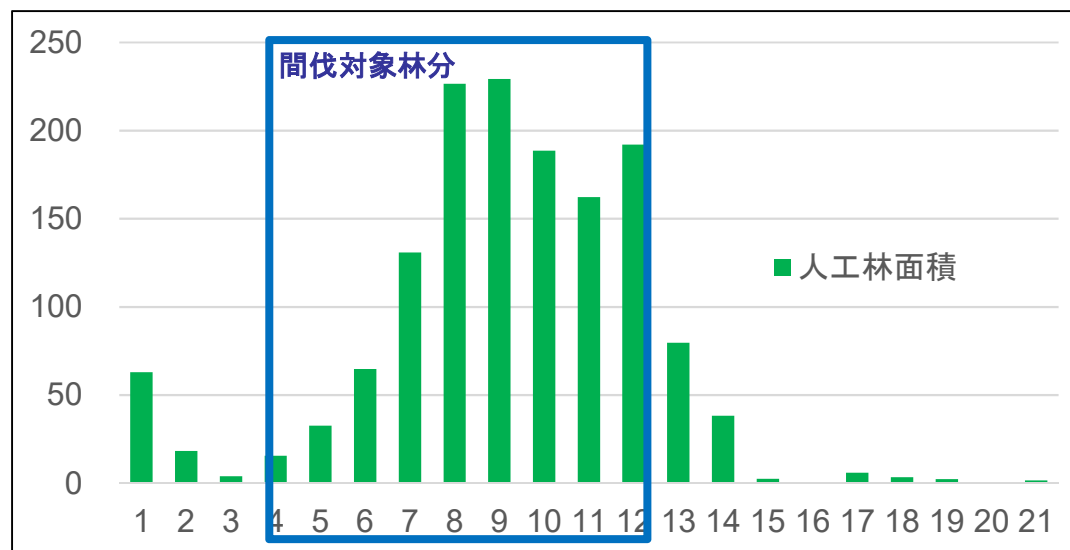
実施後の集合写真

林業体験・学習の場を提供し、森林環境教育の推進に努め、次代を担う若者たちに森林を守り育て、木材を暮らしに生かすことの大切さについて、理解が深まるよう取り組んでいます。

2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- ・本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。
- ・次期計画においても間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は85%と現行計画と同程度であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の観点からも間伐を推進する必要があります。
- ・将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進し、森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、森林吸収源対策にも貢献する必要があります。



- ・森林病害虫等に強い多様な森林の造成を立地条件に応じ推進していく必要があります。
- ・国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。
- ・国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・木質バイオマス発電等、新たな需要に応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。



チェーンソーによる伐倒



フォワーダによる集積

(2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進していきます。
- ・保安林の保全機能を維持することとし、病虫害などにより保全機能の低下した針葉樹林においては広葉樹への樹種転換など多様な森林の造成を推進していきます。
- ・貴重な植物種の保護を目的とする森林及び自然観察や森林浴などの利用を目的とする森林については、現状を維持していきます。

経ヶ岳・五家原岳のツクシシャクナゲ



- ・社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、分収林制度を活用して、森林整備を推進していきます。
- ・生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進していきます。
- ・これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努めていきます。
- ・民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進めていきます。



森の巨人たち百選に
選ばれた萱瀬スギ